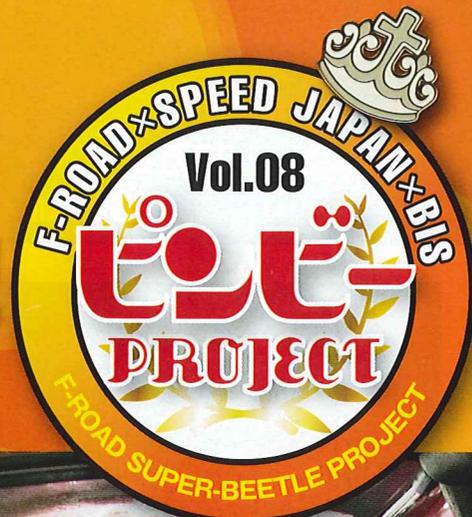


目指せ草レースの鬼!

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT

ピンビー製作日記

ロールケージ取り付け!



いよいよ作業も本格化してきました。
 とその前に、この我々のピンクのビートル号、
 名前をFSB改めピンビーにします。
 ピンクのビートルだからピンビー。単純…。
 ではさて今月は、一体何がどうなったのか?
 前回の地味なシャシ関連作業とは打って変わり、
 レース車両っぽくロールケージの取り付けだ!

文●半谷範一 撮影●森口信之
 取材協力●ベストインポートサービズ TEL:048-282-6119 <http://www.vw-bis.co.jp>
 スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>
 日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 <http://auto.jocar.jp/nichiei/>

森口のおっちゃん
 仕事してるとこ
 ちゃんと撮ってよ



街で見かけたら
 「まもる君」
 って呼んでね



なんでカメラマン&
 錦糸町の不動産王が
 作業してんだよ

冬場の作業は
 ツラそうですなあ



重い…誰かサポってんだろ
 腰が…サポってんのは…



うんせうんせ
 ピンビーのお通りだい

おっ、ピンビーのシャシもついにボディが載ったか! と思ったあなた、残念ですがちゃんとボディを載せるのはまだ先の話です。今回はあくまでロールケージの仮組をするために試しに載せただけなんです。でもこうやって、私達のような素人が作業に参加できるクルマなんて、そうあるもんじゃありません。気の合う仲間と一緒に作業するっていうのは本当に楽しいです。やっぱりシンプル・イズ・ベストだなあ。

安全性を高めるために 6点式ロールケージを仮組

前回はシャシ回りの地味な作業で終わってしまったピンビーですが、上の写真の通り、今月は結構進みましたよ。先月の作業のあと、BISさんではフロントのロアアーム取り付け部分の補強、ジーンバークのミッションマウントを追加するためのブラケットの溶接、シャシ裏側のペイントといった作業を進めておいてくださいました。私達みたいなシロウト軍団に任せておいたんじゃ、いつまでたっても完成しないことが目に見えてますからね。というわけで、今月はようやく次のステップに進むことができました。そのステップとは、ロールケージの取り付け作業です。

すでにご存じの通り、このピンビーは草レースへの出場を目指して作業を進めています。そこで、少しでも安全性を高めるために6点式のロールケージを組み込むことにしました。

VWの草レースではそれほどスピードは出ないものの、やはりレースには危険がつきもの。クラッシュすることもあるれば、転倒することだってありますからね。現にVWの草レース・イベントであるワイズカップでも転倒した車両が何台もありますし、このクルマだって、ヒーローのいサーキット、でコースアウト、クラッシュを経験しているんですよ。

ピンビーで使用されるロールケージは、某ブランドで販売されている既製品です。でもこういった商品というのはまづボルトオンで装着することなんか出来ません。そこで、今回はとりあえずボディを被せて、仮組を試みることにしましょう。



05

ロールケージの仮装着が終わったので、ボディをまた下ろしてしまふことにしました。せっかく載せたのもったいない気がするかも知れませんが、まだまだボディがない方がやり易い作業が沢山残ってますからね。ボディもドンガラ状態なら、大人6人いればそんなに苦勞せずに脱着出来るんですよ。



06

今回進めたもうひとつの作業がこれ。ブレーキのマスタシリンダー交換とブレーキラインの引き直しです。このVW1303S用のマスタシリンダー、右ハンドル用の新品を在庫しているショップは中々ありません。実はこのクルマでも、他モデルの左ハンドル用マスタが無理矢理に装着されていました。

この次の作業は.....



この次の作業は何をやるかというところはまだ決まってません。フロアの錆穴を塞ぐ作業はまだなので、それをやるかも知れませんが、サスペンションやブレーキ回りの作業の可能性もあります。そうそう、ダッシュの取り付けもまだでしたね。というわけで、何をやるかは来月号をお楽しみに。



03

色々考えた結果、とりあえず前側のバーの位置を基準にして、それに合わせて後のパーツを加工しながら組み込むという作業をとることにしました。そこで、前側のバーの位置をマーキングして、ドリルで取り付け用の穴を開けました。もちろんシャシに溶接した方が強度が出ますが、ピンビエが参戦するレースではそこまで要求されることはないでしょう。後々の修理等の場合を考えても、やはりボルト止めにしていただいた方が良さそうです。



04

実際に仮組してみたら、ベースプレートの分が当たって組み込むことが出来ない部分があり、長さが足りなくて届かない部分があったり、なかなか一筋縄では行きません。邪魔な部分は皆でサンダーで削り落としてしまうことにしました。実際の装着時には、裏側から鉄板の当て板を挟みます。



01

作業の日、BISに到着したら、シャシがこのようなペイントされました。レースに使用することを考慮して、フロントサスのロアアーム取り付け部には補強が溶接されています。この位置からは見え難いですが、ジーンバグの追加のミッションマウント装着用のブラケットも溶接されています。



02

シャシの上にボディを載せ、その中にロールケージを組み込んでみました。もちろん某有名ブランドのビートル専用のパーツですが、こちらを合わせればそちらが合わない...という状況。こりやかなり加工をしなくちゃ装着できませんよ。でも、こういったパーツっていうのはそれが普通です。